

第九たいむず



No.41 2008. 4. 3

通刊784 担当 祐美子



ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233 (団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052 (事務局長小野里)

♪現在受付で扱っているもの

- ★チケット メイコンサートに出演する方は、**全員**、チケットを買ってください。8,000円で12枚入りの封筒がもらえます(受け取ったらその場ですぐ枚数を確認してください。)。1枚1,000円で販売し、全部売れると4,000円分はお小遣いとなります。もっと欲しい場合は、「おかわり」のチケットを1枚500円で受付にて販売します。多くのお客様に聴いていただける様がんばりましょう！！
- ★打ち上げ メイコンサートの終演後、17時30分頃(コンサートの時間により多少変わります)から、3,500円で飲み放題 高崎駅東口のAIAIにて。詳しくは受付の申込書をご覧ください。
- ★ビデオ・DVD メイコンサートの模様を撮影し、ビデオとDVDを作ります。希望する方は受付の申込用紙(ビデオ用とDVD用があるので、間違えないで！)にお名前を書いてください。商品は6月の練習日にお金と引き換えにお渡しします。
- ★女性の衣装 できあがったものから順に配っています。きらきらのヘアバンド(?)をもらっていない方は、申し出てください。
- ★団員登録 受付に申し込み用紙があります。

♪メイコンサートについて

- ★4月17日(木)の練習時に衣装合わせの練習を行います。なるべくそれまでに衣装をご用意ください。何にもないから貸衣装と言う方は、当日のみで構いません。アクセサリも忘れずに！当日のスタイルで、みんなと合うかどうか、確認しましょう。(^^)
- ★集合時間 高崎市文化会館午前9時 着替えて10時から舞台にて発声練習開始。
女声: 大ホール裏手の楽屋にて着替え 男声: 地下会議室にて着替え
* 貴重品の管理は各自で行ってください。★ゴミは持ち帰りです。
- ★お昼ご飯 おにぎり2個と飲み物をご用意します。足りない方は持参してください。

♪先週の練習内容について

★ひどくもう夜がふけたような(全体)

- P 64 シャベってください！覚えてください！まずそこから。
- P 65 アルト 最初の音、要注意。そしてその後、遅れないように！
(どんどん速くなる音楽を楽しみましょう！！)
- P 68～ ほとんどの音にアクセントが付いています。
- P 69 2段目4小節目の歌い出し 伴奏をよく聴いて、遅れないように。

★乾杯の歌(全体)

- P 58 1段目3, 4小節 装飾音符
※このように速く細かい音形は、「h」を音と音の間に入れ、軽く息を混ぜると歌いやすいです。
- P 59 3段目2小節 コーラスパートの最初の音、しっかり長めに延ばします。

★景気良々さあ酒を(全体)

- P 48 歌い出し しっかりと！(P 48 2段目最後の小節 伴奏のF(ファ)の音がきっかけ)

★ハンの営め歌(全体)

- P 19～24 ソプラノ・テノール おなじみの繰り返しの音形で、最後の延ばす音(F、ファ)
⇒高いからといってグワツとがならないように。
- P 28 1段目最後の音 楽譜では2段目の最後まで延ばすようになっていますが、2段目最後

の2小節分の音をカット！記号 M の部分に入る前まで延ばします。

■ P 29 最下段 3小節目～「コンチャック」の音 要注意！（高めに！！）

■ P 39 1段目最後の音 P 28と同様に、延ばす音を2小節分カット。記号 T の部分に入る前まで延ばすのを止めます。

■ P 40 3段目5小節～「コンチャック」の音 要注意！（P 29よりも高めに！！！！）

■ P 43、44 歌える人は他パートも含め、全部歌って OK。（むしろその方がリズムに乗れる！）

♪熊川哲也 Kカンパニー 第九公演

【赤羽 洋子】

赤坂サカスの中に新しく文化の殿堂として完成した「赤坂アクトシアター」(1360席)。プレミアムオープニングでの記念すべき取り組みの公演を見てきました。

テーマは永久のときを刻む「地球」……46億年前、原始地球にマグマが沸き起こり、そこに水が流れ込んで地を固め、海となり生命の誕生をもたらし、そして私たちの生きる今日へ……壮大なテーマのもと、我々の母なる星をめぐるドラマは幕を開けました。

第1楽章 大地の叫び 赤を基調としたステージは地形が作りあげられて行く過程として、マグマや地から吹き出る力強さを男性だけで表現していました。

第2楽章 海からの創生 地が固まったところに水が流れ込み、この地球上に海となっていく。水の滑らかさや美しさを表し、水色の衣装で女性ダンサーだけで表現されていました。

第3楽章 生命の誕生 そこに生命が誕生します。クリーム色の柔らかな衣装で男女のダンサーの群舞が続きます。

第4楽章 母なる星 長い年月を経て進化していった人類、今の時代を表しています。純白の衣装の華やかな踊り。そして怪我から再起した熊川哲也の登場！ 派手なジャンプ、数え切れない連続ターン。どこから見てもカッコ良いスター、プリンシパルの踊りでした。

演奏は、バレエ音楽の指揮者として実績をあげている 福田一雄、ソプラノ野田ヒロ子 アルト森山京子 テノールは高崎第九にも出演した中鉢聡 ベース田島達也 合唱は藤原歌劇団合唱部 オケはシアターオーケストラトウキョウ。日本を代表するバレエ界のトップKカンパニーと同じく日本を代表する音楽家との豪華コラボレーションの始まりです。

幕が開くとステージ奥全部がバルコニーになっていて、その二階部分でオーケストラが指揮者も含め全員白のスーツ、白のターバン姿で演奏しています。舞台装置のように見えて、ちょっと気の毒？でした。

4楽章になると合唱団がやはり白のガウン白のターバンのような衣装で、音もなくバルコニーの一階部分に出て来て歌います。体を全然動かさずに壁になりきって歌っているのが本当に舞台装置に見えてしまいました。バレエに合わせる事に気を使って歌っているのが盛り上がれない窮屈な何かを感じました。

オケと合唱が主役の第九しか経験した事のない私には、異様な風景に見えてベートーヴェンに申し訳ないような気になりました。チャイコフスキーのように最初からバレエが主役、オケが伴奏の曲を見慣れていたせいでしょ。大好きなバレエを見ているのに耳はオケや合唱に神経が行ってしまい、なかなかバレエの世界に没頭できませんでした。藤原歌劇団より高崎第九合唱団の方が上手く聞こえたのは私だけ？やはり第九はそのままの演奏会が良いかしら！！

とはいえ私はバレエが大好きです。小学校2年生からピアノ、歌、クラシックバレエを習っていましたが、一番好きなのがバレエ、一番嫌いなのが歌でした。世の中、なかなか思うようにはならないものですね。一番嫌いだった歌を生きがいにして生活しています。もしかしたら宝塚で踊っていたかもしれないです。いまだに体を動かすのは大好き！そのうち動きすぎて指揮台から落ちるかもしれませんが。

素晴らしいバレエを見て夢のような気持ちで会場を出ました。でも赤坂サカスのオープニングイベントでゴった返していた赤坂の街に圧倒され、たちまち現実に引き戻されました。

♪コンサート情報

メゾ・ソプラノ諸田広美帰国記念リサイタル「Eccomi!」 ピアノ：ユリヤ・レヴ

4月12日(土)午後7時開演 群馬県民会館小ホール

入場料：前売2700円、高校生以下1500円

諸田広美：前橋市出身、東京二期会会員。2006年ミラノにて「カルメン」でデビュー。

※市民ボランティア活動の写真展が、3月26日～4月1日まで、群馬県庁の昭和庁舎「サロン群馬」で開かれました。その様子の一コマです。撮影：フォレストさん

